

神奈川大学 産学連携事業

「本の架け橋プロジェクト」の皆様

この度は、皆様より多数の漫画本をご提供いただき、ありがとうございました。

タジキスタンでは 2002 年から日本語教育が始まり、在留邦人がほとんどいない中、少しずつではありますが、日本語学習者を増やしております。日本語能力試験も現在のところ年 1 回ではありますが、タジキスタンで実施できるようになりました。まだ日本語のレベルは高くはありませんが、学習者の多くが日本のアニメに興味を持っており、それが学習動機になっています。しかし、複数種の文字を使用する日本語の学習は、非漢字圏の学習者にとって容易なものではありません。今回皆様にご寄贈いただいた漫画本は、日本語学習者への学習モチベーションの大きな支えとなります。今後は、漫画を読むのに必要な文字の学習にも精を出してくれるものと期待しております。

まだまだコロナの感染状況におさまりの兆しが見られず、皆様にも生活に制限が設けられ、我慢にも疲れが出てきているのではないのでしょうか？当大学も 3 回目のワクチン接種が始まりました。どうぞ、皆様、健康にはご留意ください。皆様の善意に再度感謝申し上げますとともに、ご健康とコロナの感染状況の改善を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。

2022 年 2 月 8 日

タジキスタン国立言語大学派遣 JICA 海外協力隊：建木千佳



神奈川大学産学連携事業「本の架け橋プロジェクト」の皆様

この度は、漫画本をたくさん贈ってくださってありがとうございます。

タジキスタン国立言語大学の学生たちは、漫画本を読んで、漢字が少し読めるようになるかもしれません。漫画本には漢字のふりがながあるので、学生達は楽しみながら読めると思います。それに絵もありますから、ストーリーも理解できるでしょう。このように学生の日本語の勉強に役立つものをいただいて、非常に感謝しております。

タジキスタン国立言語大学日本語学科はできてから20年が経ちました。しかし、学生達のレベルはあまり高くはありません。しかし、最近日本語を学びたい学生達が増えています。私たちは学生達のレベルが少しでも高くなるように今後も努力を続けていこうと思います。

また、機会がありましたら、ぜひご協力くださいますようお願いもうしあげます。

日本語学科代表

マヒナ・カリモヴァ

